

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 656 号

2016年2月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

特 別  
寄 稿

## 年 頭 所 感 日本にしか出来ない品質を

中部ダイカスト工業協同組合理事長 松尾 精 介

2016年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、世界情勢をみると、好調な景気拡大傾向にある米国が昨年12月に約10年ぶりに利上げに踏み切り「ゼロ金利政策」に終わりを告げました。これにより世界経済は、新たな転換期を迎える可能性もあります。

景気の足踏みが続く欧州各国、陰りが見えはじめて低迷する新興国、日本ですら一部の輸出型大手企業は好調なもの我々中小企業まではその恩恵を受けることはなく景気回復というにはまだ不十分であります。

しかし一方では好材料も顕著化してきました。シェール革命による原油安で、先月には1バレル30ドル割と約12年ぶりに安値をつけ下げ止まらない状況にあります。

資源輸入国である日本にとってはプラス面の方が高く、特に我々中小企業、資源エネルギー多消費型のダイカスト産業にとっては、ガス・電気等のエネルギー、アルミ材料や副資源等の調達コストが減少することで業績拡大（回復）へと導いてくれる好影響が大いに期待されます。

まさしく今年こそが、『本格的な景気回復』となることを信じて、業界一致団結して頑張ろうではありませんか！！

熾烈なグローバル競争の中、ユーザーの現地（海外）生産、現地調達の傾向は円安にも関わらずその傾向はあまり変わりません。ここで我々はしっかり腰を落着かせて、日本にしかできない高品質の付加価値のあるダイカスト製品を作り上げていく『ものづくりの原

点』に回帰していくことが必要不可欠だと考えます。

一般的にダイカスト業界は、工程内及び機械加工後の不良が高い業種だと言われています。品質改善は、生産性向上の要因となり、原価を下げます。更には、顧客の信頼（顧客満足度）を勝ち取り、営業拡大へのストロング・ポイントとなります。そして会社に利益をもたらし、社員への待遇改善につながり、最終的には企業の将来への存続を決定づけるものだと言っても過言ではありません。改めて、品質の重要性を再認識していくことが、ストップ産業空洞化にも繋がっていくものだと信じて疑いません。

更にもう一つ加えるとしたら、日本は少子高齢化の波が押し寄せきており、近い将来確実に人手不足の時代が到来します。いや、もう既にそうした傾向は顕著化しつつあります。特に中小企業は大手企業に比べて、採用環境が劣勢であることは言うまでもありません。今の段階から中長期の展望に立ち、人手不足対策を構築してい

く必要があります。

省人化・自動化につながるロボット導入、効率化・簡素化、アウトソーシングによる事業改善、受注変動への敏速対応など生産性向上が必要であります。一方女性の活用、高齢熟練者の延長、外人労働力活用等も必要不可欠となります。「人財こそかけがえのない最も大切な資産」で企業の活力の源泉だと考えています。

本年も元気で企業活動に邁進されることを心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

（ダイキャスト東和株式会社 代表取締役）



## 第32回 商売繁盛・交通安全 祈願会

1月15日 三ヶ根観音

1月15日（金曜日）、アスカ工業株式会社の原料納入事業所代表の80名は三河湾国定公園吉良温泉の吉良観光ホテルに参集して、午後3時より同ホテル会議室に於いて天野久会長の「申年を占う」と題する新春放談会を開催した。

引きつづきバスで三ヶ根山頂の三ヶ根観音に参詣、平成28年の商売繁盛と交通安全の祈願会を行った。三ヶ根観音堂守は厳かに護摩を焚き、音吐朗々般若心経を誦し、参詣者一名一名の住所氏名を高らかに名乗り、七難即滅、七福即生を一心に祈願した。

そして、お札とお供物を拝受して下山した。三ヶ根山頂は雲一つない冬晴れで、眼下に三河湾の絶佳の眺望が広がり、真赤な夕日を浴びて一同平成28年の開運招福はうたがいがい無しとの自信を深めた。

入浴小憩後、6時30分より大広間に参集の一同は、盛大な新年宴会を催した。岡谷鋼機株式会社名古屋本店非鉄金属部室長吉田寛氏の乾杯で開宴、夜半の2次会に至るまで時間を忘れて大いに盛り上がった。

盛大な新年宴会を目度く終了し、一泊してお開きとなった。吉例のアスカ杯新春ゴルフ・コンペは16日午前吉良カントリー・クラブで熱戦が展開され、下記の皆さんが目度く入賞した。

- 優勝 楠本 敏久氏（阪和興業）
- 準優勝 野々部洋史氏（名港海運）
- 第3位 新家 亘氏（新家商会）
- BB賞 辻村 英人氏（辻村工業）

表彰式を終わり、皆さん来年のコンペを楽しみにして、祈願会すべての行事を滞りなく有意義に終了した。



天野久会長の新春放談会

## 新春放談

## 1億総活躍

アスカ工業株式会社取締役会長 天野 久

## 「1億」とは

昨年末、安倍内閣の政治スローガン「1億総活躍」という言葉が飛び出した。「1億」と言う言葉は政治スローガンとして長らく聞くことがなかったので大そう驚いた。

第2次大戦中、戦場で日本軍の劣勢が次第に明らかになり、内政では物資が徹底的に欠乏して国民生活が行詰り、国家の進退がきわまった時に「1億」うんぬんが飛び出す羽目になる。

私が耳にした始まりは、昭和15年(1940年)近衛文麿内閣の時代に、政党を解消して「大政翼賛会」を組織し、内務省と陸軍省で支配する一党独裁の政治体制が出来た時、「1億1心」運動が始まり、政治的異論の封じ込め用スローガンとして宣伝された。

その後次第に多用され、昭和16年(1941年)日米が開戦して以降、

1億総決起！ 進め1億火の玉だ！

と言うような多くの過激な戦意高揚スローガンとして新聞紙上や辻々に掲げられた。戦時中のスローガンで「1億」は大そう威勢のよい単語で、図書館へ行って使用例を調べようと考えたが、余りにも馬鹿馬鹿しいので中止した。

戦時歌謡の歌詞にも戦意高揚のため、

ああ1億の胸はなる(紀元二千六百年)

のように、いくつも作詞され広く歌われた。念のため大辞林で「1億」と調べてみたが、「国民全部の意で使われた」とあって、現代語ではなく死語の扱いがされている。

## 数字の幽霊

そもそも、全人口を1億人として、20才以上60才以下の現役はおよそ50%で5千万人である。安倍内閣の言う「1億総活躍」を強行するには現役以外を強制的に就労させる必要がある。しかし、昭和19年(1944年)に強行した「学徒動員」では、11才以上の学生と生徒の強制動員数は300万人、「女子挺身隊」として未婚女性に強制労働を課した数は45万人とされており、60才以上平均寿命80才まで全員をカウントしても1億という数字は夢で、こんな数字の幽霊を担ぎ出す人たちが現存するとは驚きだ。

## 一番嫌いな「1億」

私の最も軽蔑する「1億」は昭和20年(1945年)敗戦後に流されたスローガン「1億総ザンゲ」だ。全く無謀な日米戦争を始めて「1億翼賛」を叫んだリーダー、戦時中に大言を吐いて「1億一心」「1億玉砕」を叫んだリーダー、そして一転敗戦の暁には、「1億総ザンゲ」と宣伝して一切の戦争責任はリーダーにはなく人民大衆にありと言う始末。

敗戦時に多感な20才の青年の私は、この無責任の大人達に大きな失望と反感を持ったもので、今日でも大言壮語する人達を決して信用しない。

このように、「1億」と言う表現は、深く大きい嫌悪感ばかりあって、どうしてもなじめない。私は政府の公式英文にはどんな表現かと心配したが、流石に1億という荒唐無稽な表現ではなく「全市民」としている。

しかし、訳文の Promoting dynamic engagement of all citizens は、昭和13年(1938年)の国家総動員法 — 人的・物質的資源の国家管理の開始、昭和18年(1943年)の職業制限法 — 男子の就業禁止職種の決定と強制徴用を思い起こさせる。

政府が「1億」何かを口ばしするときは、異論を封じようとする右傾化のはじまりのように考えてよい。口にする人は威勢は良いように感じるだろうが、具体的には内容はない。

今までの歴史をふり返ると、国民に忍耐や犠牲を強制しようとする場合に叫ばれる言葉だと考えるべきで、むしろファシズム(全体主義・排外主義で一党独裁の専制思想)の響きがする。

## 現実を見よう

日本の社会構造の顕著な変化は、正規雇用が1980年代の85%から今日の60%へ大幅な低下を示している。これは不安定社会への進行を示しており、30才代男性の場合、非正規就業者の既婚率が正規就業者の半分以下でありこの原因は給与の差であると考えられる。

我々の目標は常に「より安定の社会」と「より安心の社会」を築き上げることにある。これは自由主義社会の大目標であり、派手なスローガンで全体主義を鼓吹して個人主義と自由主義を殺してはならない。堅実で誠実な政治を望むものである。

新年会開宴の辞  
天野卓社長



社内情報

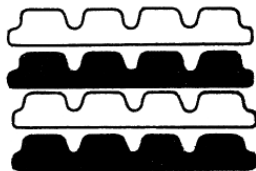
- ◎第32回商売繁盛・交通安全祈願会は、雲一つない絶好の好天に恵まれ、大そう盛大に挙行することが出来ました。
- ◎年頭でご多用のところ、例年以上にご参会をいただきました。例年のように、ご参加の皆様お揃いで、平成28年の開運招福の自信が深まりました。
- ◎年初から内外多事で波乱の年となりそうですが、ご関係先の各位と緊密な連係で乗り切る所存です。

編集後記

- ☐中部ダイカスト工業協同組合松尾精介理事長様には年頭で格別にご多用のところ、昨年に引きつづき特別寄稿のご執筆をいただきました。心から厚くお礼を申し上げます。
- ☐業界多端の折柄、一段のご活躍をいただきますよう期待いたします。
- ☐ダイカスト業界、鋳物業界ともに順調な操業で新春を迎えました。まことにご同慶の至りです。

アルミ缶リサイクリング  
鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303  
愛知県西尾市中畑町新田上28  
TEL <0563> 77-0500(代)  
FAX <0563> 77-0501  
<http://www.al-asuka.jp/>